

平成27年度 堺市障害者自立支援協議会 障害当事者部会 まとめ

部会長 前田伸一

● 今後の当事者部会について

年度初めに、今年度で委員の任期が満了になることから今後の委員公募について話し合った。部会運営要領について変更をするかどうか議論した結果、今回は変更しなかった。防災についての障害者への配慮に関する議論は今後も継続して進めていきたい。

● 市長との交流

市長の「元気！いきいき訪問」の一貫として交流会を行った。まず、全員の自己紹介（名前、住んでいる区、障害のこと、部会に入った動機）を行ない、「部会として、さまざまな障害について市民理解を進めること」をテーマとして意見交換を行なった。

【委員から】

施設で、いじめや虐待があったら、市ではどんな対応しているのですか。

【市長から】

いじめや虐待の兆候があったら、全て身近な人に言うか、堺市に言って貰わないといけない。そういう風なことを見逃していたら、段々大きくなってしまふからやっぱり1つでも「いじめや虐待だな」と思うことあったら、堺市に言って欲しい。施設や地域からも根絶することが大切だと思うので、そんなことがあったら、是非通報してください。

【委員から】

施設に入所していたことがある。親は「施設」というが、私は「地域」で暮らしたい。障害がある人が地域で暮らしていけるような環境づくりが大事だと思う。

【委員から】

堺市は、アメリカのカリフォルニア州バークレー市と姉妹都市。バークレー市は、障害者自立発祥の地と言われていて、世界で初めて自立生活センターが出来た所。不思議な縁みたいなものを感じていて、堺市もバークレー市のようになってくれたらいいなと思う。バークレー市がそうだったように、当事者パワーが行政や社会を変えて行くと思うので、当事者部会もその最先端として発信していけたらいいなと思う。

【市長から】

障害がある人、お年寄りや子供も、一人一人がそれぞれ大事にされている社会を作っていくことが大事だと思う。バークレー市は、そういう意味で「自由」を売りにした街であり、堺市も「自由や自治」を今まで大事にしてきた街なので、皆が仲良く自立して暮らせる街づくりを大切にしないといけないと思う。

【委員の振り返りから】

・少ない時間だけど話せて良かった。

- ・市長の話しやすいキャラクターもあって、途中から和んだ。
- ・テレビで見ていた市長の印象が違った。良い人、人格者であるようだった。
- ・市長も施策のことをすべて知っているわけではないので、答えにくかったかもしれない。
- ・市長もやりたいことが出来ていないかもしれない。
- ・司会として3日前から緊張していた。
- ・障害者のこと、女性の置かれた状況を話せて良かった。
- ・委員の直球の質問に感動した。
- ・見えない障害について理解を求められたのは良かった。
- ・「難病者の支援が必ずしも広がっていない」と伝えたかった。
- ・当事者部会発足時から希望していた面会が実現して良かった。
- ・今後もこのような場を持たせて頂きたいと願っている。市長の熱意を少し感じられた。

● 福祉計画わかりやすい版について

障害施策推進課から第4期堺市障害福祉計画（平成27年度から平成29年度までの3年度）について意見を伺いたいと申し出があり実施した。まず、障害施策推進課担当者から説明があった。

【障害施策推進課から】

- ・昨年度の部会で、福祉計画についてお話しさせて頂いたときに、わかりやすい版みたいなものをご説明させて頂いた。そのときに、「グラフとか絵を入れて、より分かりやすく工夫できるかな。」という意見を頂いたので、今回は、修正させて頂いたものを持ってきました。
- ・「こうすれば、よりわかりやすい」という意見があれば欲しい。
- ・福祉計画は、数字が主になる計画で、目標とそれぞれの福祉サービスの見込量やそのサービスを供給していくためにどのようなことをしていくのかなどが書かれている。
- ・印刷した冊子にする予定はなく、ホームページ上にカラーで掲載します。

【委員から】

- ・地域福祉課に配布してみてはどうですか？
- ・本文のルビが字とくっつき過ぎて見にくいかも知れない。
- ・行はくっつき過ぎてはないが、1列が32文字くらいなので、30文字くらいにして貰えると見やすい。
- ・フォントを「メイリオ」して貰った方が見やすい。

以上のように、相互に意見交換ができた。今後もこのような依頼があった場合は、意見を発信して行きたい。

● 当事者交流会 実施

開催日時： 平成27年9月30日（水）14：00～16：00

場 所： 堺市産業振興センター4階 セミナー室4
対 象： 市内在住の障害当事者
参加人数： 19人（身体障害3人、知的障害2人、精神障害13人、難病1人）
※ 障害当事者部会からの参加人数は9人
合計 28人

【テーマ】 「地域で困っていることはありませんか？」

サブタイトルは、障害者差別解消法施行に向けて

まず、丸野副部長から部会の説明後、交流を開始した。4つのグループに分かれて、穏やかな雰囲気で行い、最後に各グループの意見を発表して貰った。差別を受けた側の理不尽さや制度についても多数意見が出された。

【委員の振り返り】

- ・アンケート結果に、「交流会をまた企画して欲しい」という貴重な意見があった。
- ・当事者同士が、話し合えるところが普段ない。
- ・難病にはすごく種類があって、発生率が少ない疾病だと研究対象となり、医療費が助成されるけど、なんか複雑な気持ちになる。
- ・計画相談に入って貰っているけど、どこまでを頼めばいいか、分からない。
- ・大体のことは自分で出来るけど、いざとなった時、そのためには近所の人助け欲しい。
- ・「差別解消法」とタイトルを付けたので、差別のことに話がかたよった。むちゃくちゃ差別あるから、これで差別解消法が出来たらどうなるんだろうと、心配になる。
- ・交流会では、「楽しみにしていること」、「小さな幸せ」など、前向きな話しも出来たので良かった。

● 障害者差別解消法の勉強会

まず、茅原委員から説明を受けた。差別禁止法という法律は、日本でも作ろうとしたが25年も掛かった。差別解消法というのは、障害を理由とするための基本的な事項とか、国、行政機関地方公共団体それから民間事業所における障害を理由とする差別を解消するための措置を定める。つまり、「障害者差別を無くしていわゆる共生社会を実現しよう。」ということになっている。アメリカのようにできるかどうか。

【委員から】

- ・国民性の違いやね。
- ・長く時間かけてできた法律で、差別禁止法ではなく、差別解消法という名前にしたので、弱いかんと思ってる。
- ・身内、家族とか、友達の差別は、差別解消法には、あたらないんですか。
⇒・たぶん、身内からだ虐待になる可能性があるから、別の法律の範囲となる。
- ・例えば、乙武君が、とある店にいったら、「うちは、障害者お断り」みたいな事件もあった。ああいうのは、乙武君個人の問題ではなくて、車いす障害者の全体の問題になるから、それは、是正されて、正される可能性高い。
- ・アメリカの「障害があるアメリカ人法」ADA法（Americans with Disabilities Act of 1990）は、実際に障害者の人が告発者になって、「そこに差別がある」、「あそこに差別がある」と言う。そのような仕事もある。だから、そういうことを当事者が、がんがん言っていないと、なかなか変わっていかないかなと思う。

- ・みんな差別Gメン（監視員）みたいにならないといけないとの意見もあった。

● 防災について

東区障害者自立支援協議会 代表 御田氏（東区障害者基幹相談支援センター長）をお招きし、東区協議会の取組みについて紹介を受けた。

東区協議会での防災の取組みや非常時持出し品（防災グッズ）の紹介があり、実際に委員が試着、試食するなど行った。また、東区協議会の防災避難訓練の様子をプロジェクターに映し、紹介してもらった。

【委員から】

- ・防災グッズは、一般的に販売されているものなので、当事者が使うには難しい（使いにくい）部分もある。
- ・避難所に向かうにしても、ガレキなどあれば車いす一人で向かうのは実際難しいし、避難所でもスペースの問題もあり課題はある。
- ・まず自分の身は、自分で守るべき。
- ・どうやって周知するか、また周知し続けるべき。
- ・2～3日後のビジョンが分からない。
- ・防災カードは東区だけでなく市全体ですべきでは。紙での作成ではなく不織紙（水に濡れても破れない）で作るべき。
⇒・社会福祉協議会でも同じようなカードを作っているから統一したものの方が当事者も支援者も分かりやすいのでは。
- ・ICチップで情報管理（投薬情報など）できないかな？
⇒・サーバーで管理しているので、震災時は停電となるので利用できないだろう。
- ・障害がない人でも、色んな場面で災害時にどのように動いたら良いのか絵が浮かばない。当事者はより浮かばない。
⇒・こうやって、改めて話し合うことが良いことだと思う。

● フリートーク

【ヘルパー不足について】

【委員から】

- ・ヘルパーが少なくなって、困っている。事業所の数が増えているが、ヘルパーの数が少ない。
- ・重度訪問介護の夜間支援のヘルパーが特にいない。
- ・何か手立て、施策を推進して欲しい。そうでなければ自立生活が難しくなる。
⇒・堺市だけでなく、全国的な問題である。

【計画相談支援について】

【委員から】

- ・総合相談情報センターから「計画相談支援のわかりやすいパンフレット」について当事者部会に対し、意見を求められたため協力を行った。今後、相談支援窓口で配布され、より多くの当事者、家族及び支援者へ広まればと思う。

【その他】

【委員から】

- ・ 阪堺電車の宿院駅は、完全なバリアフリーとなっているが、始発・終着駅である天王寺駅は段差が多くある。
⇒ ・ 現在、工事中なので、使いやすくなってほしい。
- ・ 区協議会へ傍聴として参加したことの報告があり、専門用語が多く分かりづらかったとの意見があった。
- ・ 堺市立健康福祉プラザは、アクセスが良くないので、交通の利便が良い大阪市内の長居障がいスポーツセンターへ通っている。地下鉄とJRの駅から近い。

● ブログの充実

ブログに関しては、閲覧されている方は多数あり、当事者部会に関心がある方がある一定程度いらっしゃることが伺える。今後も更新などを積極的に進めたい。

● 研修へ講師としての発言

今年度も、障害者支援課から「グループホーム事業者向け研修」で当事者の意見を伺いたいという要請があり、発言させて頂いた。

当事者の意見を聞くというスタンスが、支援者に見られた。当事者から出された意見を今後、現場や制度へ反映して欲しいと思った。今後も研修への講師派遣は続けて行きたい。

● 次期委員公募について

【委員の公募について】

【委員から】

- ・ 次期当事者部会委員の募集では、精神障害の枠に発達障害を含めることで良いか？
⇒ ・ 国の制度では、精神障害者保健福祉手帳交付対象者に発達障害を含むとなっているため、今回の募集では、精神障害の枠に発達障害者を含めることとする。
- ・ 今後、発達障害者の方とも交流を行いたい。

● 次年度について

当事者部会の委員公募の在り方や、毎月開催している部会を年に6回にすることへの議論や、好評だった当事者交流会の実施、防災に関する当事者視点の発信、各区協議会への当事者部会の参画等、部会委員の出来る範囲（各自治体への視察等）で各所へ参加をしていきたい。

委員同士の話し合いなど各々の障害について共有を丁寧に行っていきたい。

※ 講師派遣

堺市障害者支援課 グループホーム事業者研修（8月21日）

白石、丸野、辻本、松本

茨木市障害者地域自立支援協議会（11月19日）
前田、白石、丸野、辻本

西区障害者自立支援協議会（11月26日）
白石、野崎、松本

堺市障害者差別解消推進フォーラム（2月13日）
前田

※ 視察の受け入れ

堺市 竹山市長（7月22日）
大東市自立支援協議会（8月12日）
吹田市自立支援協議会当事者部会準備会（8月26日）